

うたって学ぶしまくとうば

～rainとめぐる沖縄のうた～

赤田首里殿内編

年 組 番 氏名

イントロコーナー》『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』ってどんな歌？

『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』は、沖縄に伝わる手遊び歌・童歌（わらべうた）のひとつ。この歌には、「病気をせずに健康に過ごせますように」という願いと、「作物がよく実り、生活が安定して豊かになりますように」という願いが込められています。このワークでは、沖縄の童謡をとおして、しまくとうばの意味や音を楽しく学んでいきましょう！



学習の目標



- うたの内容を知ろう：『赤田首里殿内』がどんな場面・どんな願いの歌か知ろう。
- しまくとうばにふれよう：うたに出てくるしまくとうばの意味や音の感じを知ろう。
- 自分の言葉で伝えよう：学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう。

1. うたの内容を知ろう》『赤田首里殿内（あかたすんどうんち）』ってどんなストーリー？

Q1. この歌にこめられている願いとして近いものに○をつけよう。

- ①みんなの健康 ②豊作（作物がよく実る） ③平和なくらし ④ぜんぶ



Q2. 『赤田首里殿内』の歌詞には、「決まった順番（1番・2番）」がないとのこと。あなたはそれを聞いてどう思いましたか？



Q3. 次の（　？　）に入る言葉は？ 選択肢の中から一つ選んで、○をつけよう。

赤田首里殿内 黄金燈籠提げて それが明かがれば （　？　） 御迎え

- ①キジムナー ②弥勒（みろく／ミルク） ③耳切坊主（みみちりぼうず）

うたって学ぶしまくとうば【赤田首里殿内編】

教員用解説資料

【留意点】

◆教材の特性

- 手遊び歌・わらべうたとして親しまれてきた歌。楽しい雰囲気を大切に
- 祈りの歌：五穀豊穣・健康・幸福を願う意味が込められていることを理解させる
- 歌詞に決まった順番はない：「1番・2番」という概念がないことに注目

◆重要な文化的背景

- ミルク（弥勒）≠牛乳：弥勒菩薩の生まれ変わり「布袋様」のこと。現世の幸福をもたらす神様
- 首里殿内（スンドゥンチ）：最高位の祝女（ノロ）の屋敷。国家祭祀を司る場所
- 弥勒ウンケー：ミルク様を迎える行事。灯籠に火を灯すことで始まる
- 弥勒世界報（ミルクユガフー）：豊年万作・天下泰平。ミルク信仰は中国南部から伝わった

◆しまくとうば学習のポイント

- 手遊びと一緒に体験：体を動かしながら歌うことで、自然に言葉を覚える
- 擬態語に注目：「ヤファヤヤファ（柔らかい）」 ⇔ 「クファ（硬い）」の対比を紹介
- フェーシ（囃子）の理解：意味のない音楽的な言葉（シーヤーブー、耳ン前など）

◆配慮が必要な場面

- 手遊びが苦手な児童：見るだけ・一部だけ参加でもOK
- 発音が難しい言葉：ゆっくり区切って練習（「あかた・すんどうん・ち」など）

Q1. この歌にこめられている願いとして近いものに○をつけよう。

【解答例】④ ぜんぶ（健康・豊作・平和なくらしすべてが含まれる）

【指導のポイント】・五穀豊穣幸福、作物の成長、健康が願われていることを押さえる。
「弥勒世界報（ミルクユガフー）」=豊年万作・天下泰平という意味を補足説明するとよい。
・現世の幸福すべてを願う歌であることを理解させる。

Q2. 赤田首里殿内には、決まった順番がないとのこと。それを聞いてどう思いましたか？（自由記述）

【解答例】・不思議だと思った。今の歌には1番2番があるから。

- 順番がないなら、好きな歌詞から歌えるから面白いと思った。
- 昔の歌は自由だったんだなと思った。

【ポイント】・沖縄民謡の特徴の一つ。正解はないので、児童の素直な感想を引き出す。
・現代の歌との違いに気づかせ、文化の多様性を学ぶきっかけにする。

Q3. 次の（　？　）に入る言葉は？ 選択肢の中から一つ選んで、○をつけよう。

【解答例】② 弥勒（みろく／ミルク）

【ポイント】・「灯籠に火が灯る=弥勒ウンケーの始まり」という歌詞の流れを理解させる。
・ミルク様を迎えることが「幸福の始まり」であることを押さえる。
・ミルク=弥勒（布袋様）：現世の幸福をもたらす神様であることを説明。
・「思い込みを外す体験」が、しまくとうばへの興味の入口になる。

2.しまくとうばにふれよう》『赤田首里殿内』に出てくるしまくとうばの意味は？

Q1. 『赤田首里殿内』の歌詞をたのしながら、声に出して歌ってみよう。

【歌詞（しまくとうば）】

あかたすんどうんち くがにどうる さ
赤田首里殿内 黄金燈籠 提げてい
う あ みるく うんけ
其りが明かがりば 弥勒御迎一
てーくく みるく うちなー いもー
大国から弥勒 沖縄に参ち
くとうしゆー みるくゆがふー
今年世や弥勒世果報でもぬ
とうかぐ ゆーあみ やふあやふあ たぼ
十日越しぬ夜雨 柔々とう給ち
いだ ふあーう やふあ たぼ
枝ん葉ん折らん 柔とう給ち
シーヤープー シーヤープー
ミミ メー ミミ メー
耳ン前 耳ン前
フィージ フィージ
肘ントー 肘ントー
イユ ミー イユ ミー
魚ヌ目 魚ヌ目

【現代語訳】

赤田首里殿内 黄金燈籠 提げて
其れが明かがれば 弥勒御迎え
大国から弥勒 沖縄に参ち
今年世や弥勒 世果報だいもの
十日越しの夜雨 柔々と給ち
枝も葉も折らぬ 柔とう給ち
シーヤープー シーヤープー
耳ン前 耳ン前
肘ントー 肘ントー
魚ヌ目 魚ヌ目

＼ 声に出して歌えたら、手遊びにもチャレンジしてみてみよう！ ／

Q1. 「赤田首里殿内」の歌詞をたのしながら、声に出して歌ってみよう。

【ポイント】

- ・音読・歌唱を重視。リズムや音の繰り返し（「ヤファヤファ」「シーヤープー」）に注目させる。
- ・発音が難しい場合は、区切って練習（「あかた・すんどうん・ち」「みるく・ゆがふー」など）。
- ・フェーシ（囃子）の説明：意味のない音楽的な言葉。日本民謡の「よいよい」「そら」などに相当。

【手遊びの動作】

- ・シーヤープー：ほっぺをつんづんする。本来は手を握る所作。語源は不明。
- ・耳ン前（ミミンメー）：「御耳様」の意。両耳を両手でつまんで左右に揺れる。
ミルク様の耳が大きいことを表す説もある（布袋様の大きな福耳を連想）。
- ・肘ントー（フィージントー）：「肘触るよ」の意。自分の肘に触れる。
- ・魚ヌ目（イユヌミー）：手のひらや足の裏にできる丸い皮膚のかたまり（たこ・うおのめ）のこと。
なぜフェーシになるのかは謎だが、言葉遊びとして楽しむ。
- ・手遊びを通じた学び：体を動かしながら歌うことで、意味がわからなくても音だけで歌を覚えられる。
(手遊び＝「体を動かしながら歌う」体験が、言葉の記憶と定着につながる。)
- ・「歌には言葉を継承する力がある」ことに気づかせる。

3.自分の言葉で伝えよう》学んだことや気づいたことを、文章にまとめて伝えよう！

Q1. 『赤田首里殿内』の中で、あなたが「おもしろい」と思ったしまくとうばはどれ？

「おもしろい」と思ったしまくとうば：_____

その理由：_____

Q1. 『赤田首里殿内』の中で、あなたが「おもしろい」と思ったしまくとうばはどれ？

- 【解答例】(例1)「ミルク」→牛乳だと思ったら神様のことだと知って驚いた。音がかわいい。
(例2)「ヤファヤファ」→優しい雨の感じが伝わってくる。
(例3)「シーヤープー」→意味はないけど、ほっぺをつんづんする動きが楽しい。

- 【ポイント】
 - ・「おもしろい」の基準は児童によって異なる。（音の響き、文化的な違いなど）
 - ・理由を言語化することで、言葉への興味・関心を深める。

Q2. あなたが「おもしろい」と思ったしまくとうばを、グループの人に発表しよう！

- 【ポイント】
 - ・発表活動を通じて、多様な視点に触れさせる。
 - ・「友だちの意見を聞いて、自分も同じように感じた」「自分とはちがう見方があって面白かった」など、メタ認知を促す声かけを行う。
 - ・時間があれば、クラス全体で「人気のしまくとうば」をランキング化してもよい。
 - ・手遊びと結びつけて「この動きが面白い」という視点も出やすい。

総合的な指導のポイント（全体を通して）

ワークシート活用は任意とするが、動画と連動させる：動画で歌や伝説を視聴してからワークに取り組むと、理解が深まる。動画の流れ（曲紹介→1回目歌唱→物語解説→歌詞解説→2回目歌唱）に合わせて、ワークを段階的に進めるとよい。

もっと調べてみよう！



- ・「赤田首里殿内」を、まだ知らない人に紹介するならどうやって説明する？
- ・「柔々（やふあやふあ）」は、どんな感じの雨だと思う？
- ・「赤田首里殿内」の手遊びもマスターしてみよう！